

さらに強い チームへ

チーム・スクールに必要な
動画コミュニケーションは
SPLYZA Teamsで



写真提供: SPLYZA

地方創生 事業プロデュース活動紹介(4) スポーツ向けSNSアプリ『SPLYZA Teams』の事業化(静岡)

特許庁委託事業 地方創生のための事業プロデューサー派遣事業

地方創生のための事業プロデューサー派遣事業

特許庁委託事業「地方創生のための事業プロデューサー派遣事業(平成28~30年度)」(本事業)では、新規事業創出の専門人材「事業プロデューサー」を公的機関等の派遣先に常駐させ、地域が保有する技術力や知的財産を地域の課題に根ざした事業の中で活用することにより地方創生を促進します。「事業プロデューサー」は、地域における事業化機能拡充のため、様々なネットワークを活用しながら事業創出環境活動を支援します。

平成28年10月を皮切りに3名の事業プロデューサーが埼玉、静岡、北九州の3拠点に派遣され、併走型の地域ビジネス促進活動を行っています。

SPLYZA 事例:スポーツ向けSNSアプリ『SPLYZA Teams』の事業化

SPLYZAは、スポーツチーム向けの動画共有・分析、編集・管理が行えるクローズドSNSアプリを開発。事業プロデューサーが事業化および知財戦略支援を続けてきました。この度、体育会学生就職支援アスリートプランニング、スポーツ教育Athlete Standard Inc.、スポーツ用品大手エスエスケイの3社と本SNSアプリの販売代理店契約を結びました。また、サッカーの記録集計システムを持つ大日本印刷との協業により、アマチュア全国サッカーリーグに本SNSアプリが採用されました。

担当事業プロデューサー



増山 達也(派遣先:静岡県産業振興財団)

専門性・実績

- ✓ 地域金融機関における審査や営業、大手企業での銀行立ち上げ等の知見を活かし、地方でのビジネス開発に従事。特に静岡の知見と経験を豊富に有する会社経営者として全国に拠点を有する組織を経営し、地域でのビジネス開発や組織運営に強力な専門性を有する

企業情報



HPIは [こちら](#)

株式会社SPLYZA【スプライザ】(浜松市)

事業内容

- ✓ 『アマチュアスポーツマンの「もっと上手になりたい」を叶える』というポリシーを掲げ、スポーツアプリを開発・提供している浜松発ベンチャー
- ✓ 東京五輪に向けて盛り上がりを見せるスポーツ分野で、今後の成長に期待

所在地 〒432-8003 静岡県浜松市中区和地山3-1-7
(TEL: 053-523-7719 / FAX: 053-523-7729)

SPLYZAのシーズ

- ▶ 従来の動画編集ソフトでは、プレーを撮影した動画の編集作業は担当者個人の手作業であり、労力が膨大で負担が集中していた
- ▶ そこで同社は、スポーツチーム向けクローズドSNSアプリ『SPLYZA Teams』※を開発。動画のクラウド共有と複数人での分担編集、スマートフォン等携帯端末での手軽な編集作業を実現し、編集にかかる労力を分散・低減することを可能にした。さらに動画を見ながらのチャット機能も付加(※特願2016-179605)
- ▶ 現在はより利便性を高めるため、高度な機能追加・改良を実施中(国際特許出願予定)

利用画面のイメージ



写真提供: SPLYZA

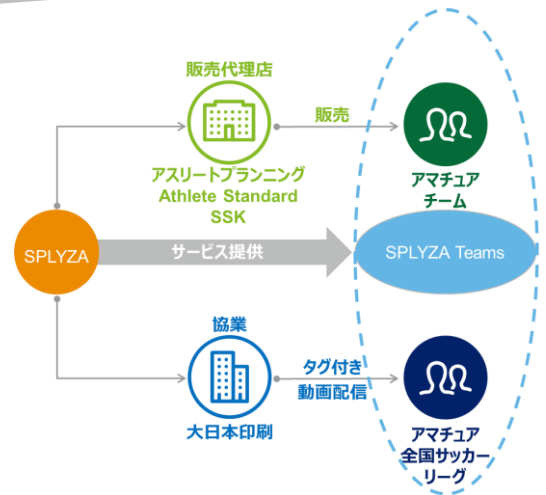
事業化における課題

- ▶ SNSアプリ契約者数増加のため、販売代理店を開拓したい
- ▶ 今後の販売戦略、ブランド戦略、海外展開について相談したい
- ▶ 海外展開を視野に、知財戦略について相談したい

事業プロデューサーによる支援実施へ

事業プロデューサーのソリューション

- ▶ 販売戦略では、適正な収益確保のため新料金体系について助言
- ▶ 事業化にあたり、販売見込先や学術機関とマッチングするなど強かに支援
⇒結果として、体育会学生就職支援アスリートブランニング、スポーツ教育 Athlete Standard Inc.、スポーツ用品大手エスエスケイとの連携でアマチュアチームへの本SNSアプリの販売経路を確立、さらにサッカー記録集計システムを持つ大日本印刷と連携してタグ付き動画配信サービスを確立
- ▶ 統括事業プロデューサーと連携し、海外特許戦略やオープン&クローズ戦略、GUIデザインの意匠権による保護について助言
- ▶ 静岡県知財総合支援窓口(静岡・浜松)とも連携し、国際特許出願や補助金の説明、特許並びに商標の出願準備に係る調査・フォローを実施
- ▶ 今後はインターフェイスと操作性の向上に加え、商標出願した「SPLYZA」※を冠した新サービスのブランド展開によって国内外に販路を開拓していく
(※商願2017-84994、商願2017-84995)



SPLYZA 代表取締役 土井様からのコメント



代表取締役
土井 寛之様

増山様、小林様には、販路開拓や知財戦略についてご支援いただきありがとうございました。引き続きご支援の程よろしくお願い致します。

商標専門の派遣専門家を交え、ブランド戦略のアドバイスや商標出願の支援をさせていただきました。貴社の国内・海外のビジネスの手助けになれば幸いです。(静岡県知財総合支援窓口 近藤様)

貴社開発の本SNSアプリが国内外で広く活用されることを期待しています。(静岡県知財総合支援窓口 宮枝様)

事業化、おめでとうございます。本SNSアプリの普及及び海外展開、アマチュアスポーツの更なるレベル向上と発展を期待します！(小林統括事業PD)

アマチュア全国サッカーリーグへのご採用、おめでとうございます。海外展開も引き続きご支援します。(増山事業PD)

有限責任監査法人トーマツ

パブリックセクターアドバイザー

地方創生のための事業プロデューサー派遣事業 事務局

片桐 豪志

有限責任監査法人トーマツ 静岡事務所

高地 耕平

デロイト トーマツ グループは日本におけるデロイト トウシュ トーマツ リミテッド(英国の法令に基づく保証有限責任会社)のメンバーファームであるデロイト トーマツ 合同会社およびそのグループ法人(有限責任監査法人トーマツ、デロイト トーマツ コンサルティング 合同会社、デロイト トーマツ ファイナンシャルアドバイザー 合同会社、デロイト トーマツ 税理士法人、DT 弁護士法人およびデロイト トーマツ コーポレート ソリューション 合同会社を含む)の総称です。デロイト トーマツ グループは日本で最大級のビジネスプロフェッショナルグループのひとつであり、各法人がそれぞれの適用法令に従い、監査・保証業務、リスクアドバイザー、コンサルティング、ファイナンシャルアドバイザー、税務、法務等を提供しています。また、国内約40都市に約11,000名の専門家を擁し、多国籍企業や主要な日本企業をクライアントとしています。詳細はデロイト トーマツ グループ Web サイト(www.deloitte.com/jp)をご覧ください。

Deloitte (デロイト)は、監査・保証業務、コンサルティング、ファイナンシャルアドバイザーサービス、リスクアドバイザー、税務およびこれらに関連するサービスを、さまざまな業種にわたる上場・非上場のクライアントに提供しています。全世界150を超える国・地域のメンバーファームのネットワークを通じ、デロイトは、高度に複合化されたビジネスに取り組むクライアントに向けて、深い洞察に基づき、世界最高水準の陣容をもって高品質なサービスをFortune Global 500® の8割の企業に提供しています。“Making an impact that matters”を自らの使命とするデロイトの約245,000名の専門家については、[Facebook](https://www.facebook.com/deloittejp)、[LinkedIn](https://www.linkedin.com/company/deloittejp)、[Twitter](https://twitter.com/deloittejp)もご覧ください。

Deloitte (デロイト)とは、英国の法令に基づく保証有限責任会社であるデロイト トウシュ トーマツ リミテッド (“DTTL”)ならびにそのネットワーク組織を構成するメンバーファームおよびその関係会社のひとつまたは複数を含みます。DTTLおよび各メンバーファームはそれぞれ法的に独立した別個の組織体です。DTTL (または “Deloitte Global”)はクライアントへのサービス提供を行いません。Deloitteのメンバーファームによるグローバルネットワークの詳細は www.deloitte.com/jp/about をご覧ください。

本資料は皆様への情報提供として一般的な情報を掲載するのみであり、その性質上、特定の個人や事業体に具体的に適用される個別の事情に対応するものではありません。また、本資料の作成または発行後に、関連する制度その他の適用の前提となる状況について、変動を生じる可能性もあります。個別の事業に適用するためには、当該時点で有効とされる内容により結論等を異にする可能性があることをご留意いただき、本資料の記載のみに依拠して意思決定・行動をされることなく、適用に関する具体的な事業をもとに適切な専門家にご相談ください。

Member of
Deloitte Touche Tohmatsu Limited